

# 愛中だより



学校教育目標

「結の心」

相手を敬い、優しく思いやる心

「韌の心」

柔軟な強さを持つ心身

学校ブログ、毎日更新中！！



## 『敬う気持ちと強さ』

校長 大泉 哲郎

夏休み期間中に開催されたオリンピックは、今回も素晴らしい感動を与えてくれました。日本は過去最高のメダル数という素晴らしい結果を残しました。そんなメダリストたちの試合も感動的でしたが、私が一番印象に残っているのは、3戦全敗で予選敗退したバスケットボールでした。選手一人一人の際立った個性がいかに発揮され、それが「ワンチーム」として融合する様子、そして全員が最後の最後まであきらめない姿は、勝敗にかかわらず感動的でした。その中でも、特に印象に残っているのがフランス戦の後でした。

試合終了まで残り10数秒で4点のリード。どう考えても日本の勝利という状況でした。もしシュートを入れられても日本ボールになるので、それを10秒守り切れればいだけ。選手たちはそれを理解しているので無理をする必要は全くありません。だから相手選手が最後のスリーポイントを打った時も、日本の河村選手はシュートチェックに形だけ入った感じで相手には全く触れていないように見えました。

しかし、審判の判定は無情にも河村選手のファール。そのスリーポイントシュートが入り、フリースローも入って同点。延長戦の末、日本は力尽き敗れました。試合後、ネット上には河村選手が接触していない写真が出回りました。



しかし、試合後、河村選手も、ホーバス監督も、そして他の選手も、「あれは誤審だ！」と審判に怒りや悔しさの矛先を向けることは一切ありませんでした。「タフな判定だったが、自分が試合をコントロールできなかった」「あれは難しいシュートだった。相手選手はそれを決めた」「河村は素晴らしいプレーをしたと思う。彼や誰かを責めるつもりはない」・・・。ネット上にあふれた審判を非難する心ないひどい言葉たちとは明らかに違うさわやかさを与えてくれました。

似たような場面は他の競技でもありました。体操、スケートボードなどなど、日本選手と競い合った選手たちが、判定や勝敗にかかわらずお互いを讃え合ったり、ライバルが競技を始める前に観客に静かにするように促したりする姿が多々見られました。

それらに共通するのは、相手プレーヤー、審判、運営のスタッフなど、試合を支える全ての人々への感謝と尊敬があるから、というのがインタビューの言葉の端々や表情などから伺われました。

「競う相手や、支えてくれる人がいるから、今自分はここでこうして命を燃焼することができる」という、周りの人を敬い感謝する気持ちは、この愛川中学校の目標である「結の心」に通じ、相手を批判したい気持ちを抑えることのできる心の強さは「韌の心」に通じるものだと思います。

2学期、合唱コンクールをはじめ、生徒会選挙や遠足、職場体験など、たくさんの行事があります。どれもが、二度ともどってこない一度きりの一期一会の機会です。

そんな貴重な時間を生徒たちが充実させることができるよう、「結の心」「韌の心」を大切に、保護者・地域の方々と手を取り合ってこの取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします！



## 各部の活動報告 三年間の活動をふりかえって 各部長から

### ○ 野球部 厚愛総体 優勝 県央総体 2回戦

2年連続県大会出場を目標として練習に励みました。春季県央大会では、準優勝、厚愛総体では、優勝、その勢いで臨んだ夏季県央大会では、2回戦敗退でした。悔しい思いをした分、夏休みの練習を頑張りました。新人戦では3連覇を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。



### ○ サッカー部 厚愛総体 ベスト8

厚愛ベスト4を目指していましたが、あと一步のところまで優勝校に負けてしまいました。人数も少なく、部活の存続もどうなるかわからない状況の中で、3年間部活を続けたことは技術だけでなく人としても成長できた3年間でした。後輩たちには、今年の悔しさを糧に来年いい結果を出せるように頑張ってもらいたいです。



### ○ バレーボール部 厚愛総体 予選リーグ 県央総体 県央出場

1一つ上の先輩に憧れて、背中を追いかけて3年間頑張ってきました。人数が少ないなど、大変なこともあったけど、自分の代が少ない分、後輩と協力してきました。みんなのおかげで3年間楽しく部活ができました。バレー部最高！



### ○ ソフトテニス部 厚愛総体 団体ベスト8

先輩、後輩問わず楽しくテニスを続けることができました。特に3年生で部長になり、他に同級生の部員がおらず悩むこともありましたが、最後までやりきることができて良かったです。



### ○ 陸上部 厚愛総体 男子共通走高跳優勝 男子共通200m5位 男子共通砲丸投げ6位男子 1年1500m3位 女子共通1500m7位 女子2年100m7位 女子1年800m2位 女子1年100m7位

先輩や顧問の先生に教わったことを活かして、部活動の中で支え合いながら冬季練習などを乗り越え、団結して練習に取り組んできました。特に総体では、ベスト8に入れるように各種目がしっかりと練習を重ね走力を磨きました。



### ○ 男子バスケットボール部

1年生の頃、部員が少なく、休部になってしまったけれど、今年1年生がたくさん入部してくれて、復活できたのでとても1年生に感謝しています。これからは、新人戦や最初で最後の総体に向け、部員一丸となって頑張ります。



### ○ 卓球部 厚愛総体 個人3回戦 男子団体予選リーグ

卓球部の仲間と一生懸命に練習してきました。最後の試合では、最後のワンプレーまで諦めずプレーすることができました。みんなで成長できた3年間でした。



### ○ 吹奏楽部 県央 吹奏楽コンクール 銅賞

どのような音色で演奏するのが部員全員で悩んで、よりよい演奏を届けられるように努力してきました。仲間と一緒に音を奏でる楽しさを知り、とても充実した3年間となりました。



### ○ 美術部 厚愛 美術部合同スケッチ大会 奨励賞、優秀賞 厚愛 中文連展示発表

新しく入部した1年生と一緒に、作品を作ることの楽しさを学びました。

### ○ PC部 厚愛 中文連展示発表

3年間の部活を振り返って、PC部はいろいろなことがありました。でも、みんなで協力して支えあったことが、特に印象に残っています。さらに、恒例の校外学習では、みんな笑顔でとても良い経験となりました。

